

# 厚生年金保険・国民年金事業の概況 (平成 27 年 8 月現在)

## 1. 総括

### (1) 適用状況

- 平成27年8月末の国民年金と厚生年金保険の被保険者数は、6,275万人であり、前年同月に比べて、6万人（0.1%）減少している。

表 1 制度別適用状況

	事業所数	被保険者数(人)			標準報酬月額 の平均 (円)
		総数	男子	女子	
厚生年金保険	1,915,727	36,761,616	23,340,576	13,421,040	306,893
船員以外	1,911,291	36,707,834	23,286,794	13,421,040	306,779
一般男子	・	23,286,202	23,286,202	・	348,025
女子	・	13,421,040	・	13,421,040	235,213
坑内員	・	592	592	・	342,503
船員	4,436	53,782	53,782	・	384,374
国民年金	・	25,986,793	8,719,857	17,266,936	・
第1号	・	16,513,088	8,529,482	7,983,606	・
任意加入	・	234,161	80,847	153,314	・
第3号	・	9,239,544	109,528	9,130,016	・
合計	・	62,748,409	32,060,433	30,687,976	・
人口	・	126,850,000	61,690,000	65,170,000	・
うち20～59歳	・	62,450,000	31,590,000	30,870,000	・
共済組合 (平成 26 年 3 月末)	・	4,394,472	2,772,558	1,621,914	・

注1. 厚生年金保険の被保険者のうち、坑内員及び船員は全員男子とみなした。

2. 人口は翌月1日現在の推計人口(総務省統計局)である。

### (2) 給付状況

- 平成27年8月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者数（同一の年金種別を除く延人数）は、4,367万人であり、前年同月に比べて、50万人（1.1%）増加している。

表 2 制度別年金受給者数

(単位：人)

	総 数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	33,239,881	14,680,300	12,885,488	405,637	5,234,828	33,628
旧共済組合を除く	32,741,803	14,379,128	12,800,951	401,937	5,126,995	32,792
旧 法	1,651,954	646,136	525,692	44,093	403,914	32,119
新 法	31,055,917	13,718,144	12,272,622	356,479	4,708,672	・
(再掲) 基礎あり	22,044,781	11,687,958	10,052,650	233,374	70,799	・
基礎または定額あり	22,873,409	12,142,867	10,730,542	・	・	・
基礎繰上げあり	1,822,697	469,589	1,353,108	・	・	・
基礎繰上げなし	21,050,712	11,673,278	9,377,434	・	・	・
基礎及び定額なし	3,117,357	1,575,277	1,542,080	・	・	・
船員保険 (旧法)	33,932	14,848	2,637	1,365	14,409	673
旧共済組合計	498,078	301,172	84,537	3,700	107,833	836
旧 法	170,739	129,402	4,943	1,576	33,982	836
新 法	327,339	171,770	79,594	2,124	73,851	・
(再掲) 基礎あり	245,269	169,061	74,403	1,746	59	・
国民年金 計	32,716,444	30,107,305	672,671	1,839,848	96,620	・
旧法拠出制	1,737,750	992,598	672,671	58,846	13,635	・
新法基礎年金	30,978,694	29,114,707	・	1,781,002	82,985	・
(再掲) 基礎のみ	8,150,966	6,605,064	・	1,520,336	25,566	・
福祉年金	608	608	・	・	・	・
合 計	43,666,883	32,931,194	3,431,106	2,010,365	5,260,590	33,628

注1. 新法老齢厚生年金のうち、旧法の老齢年金に相当するものは「老齢年金」に、それ以外のものは「通算老齢年金」に計上している。新法退職共済年金についても同様。（表3において同じ。）

2. 人数の合計は、厚生年金保険と同一の年金種別の基礎年金を併給している者の重複分を控除した数である。

3. 「基礎あり」は、同一の年金種別の基礎年金の受給権を有する者をいう。

4. 「基礎のみ」は、同一の年金種別の厚生年金保険（旧共済組合を除く。）の受給権を有しない基礎年金受給者をいう。

5. 寡婦年金については、新法においても存続しているが、第1号被保険者であった夫の妻のみに対して適用され、基礎年金一律の給付ではないため、新法分も便宜上旧法拠出制に計上している。（表3において同じ。）

- 平成27年8月末の国民年金、厚生年金保険及び福祉年金の受給者の年金総額は、47兆6千億円であり、前年同月に比べて、1兆3千億円（2.7%）増加している。

表3 制度別受給者年金総額

（単位：百万円）

	総 数	老齢給付		障害年金	遺族給付	
		老齢年金	通算老齢年金		遺族年金	通算遺族年金
厚生年金保険 計	25,850,080	17,838,923	2,409,213	299,046	5,294,018	8,881
厚生年金基金代行分除く	24,199,539	16,312,937	2,284,658	299,046	5,294,018	8,881
旧共済組合を除く	25,188,616	17,330,193	2,388,279	295,276	5,166,185	8,684
旧 法	1,780,040	1,101,398	199,328	51,966	418,838	8,510
厚生年金基金代行分除く	1,761,915	1,086,500	196,101	51,966	418,838	8,510
新 法	23,339,166	16,186,169	2,188,051	240,470	4,724,476	・
(別掲) 基礎年金	15,112,051	8,215,483	6,627,306	199,372	69,890	・
厚生年金基金代行分除く	21,706,749	14,675,081	2,066,722	240,470	4,724,476	・
船員保険 (旧法)	69,410	42,626	900	2,840	22,871	174
旧共済組合計	661,464	508,730	20,935	3,769	127,833	197
旧 法	346,070	300,943	2,347	2,399	40,185	197
新 法	315,394	207,787	18,588	1,371	87,649	・
(別掲) 基礎年金	181,878	125,892	54,479	1,448	59	・
国民年金 計	21,754,228	19,907,425	150,972	1,602,005	93,825	・
旧法拠出制	692,108	483,158	150,972	51,745	6,233	・
新法基礎年金	21,062,120	19,424,268	・	1,550,260	87,592	・
(再掲) 基礎のみ	5,492,189	4,137,290	・	1,328,684	26,215	・
福祉年金	243	243	・	・	・	・
合 計	47,604,551	37,746,591	2,560,185	1,901,051	5,387,843	8,881

注1. 年金総額には一部停止額を含む。

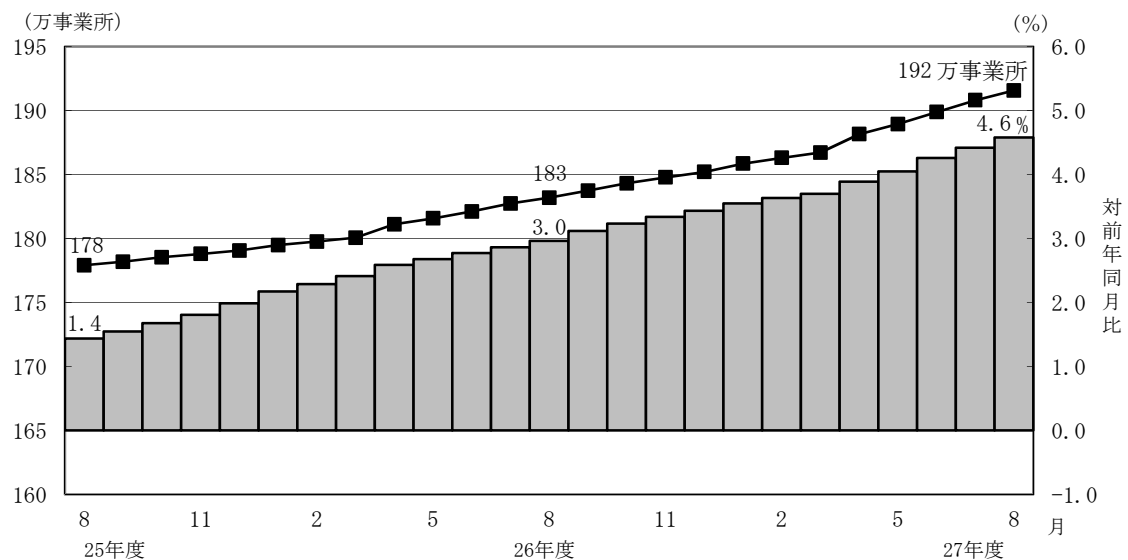
2. 「基礎のみ」は同一の年金種別の厚生年金保険（旧共済組合を除く。）の受給権を有しない基礎年金受給者の年金総額である。

## 2. 厚生年金保険

### (1) 適用状況

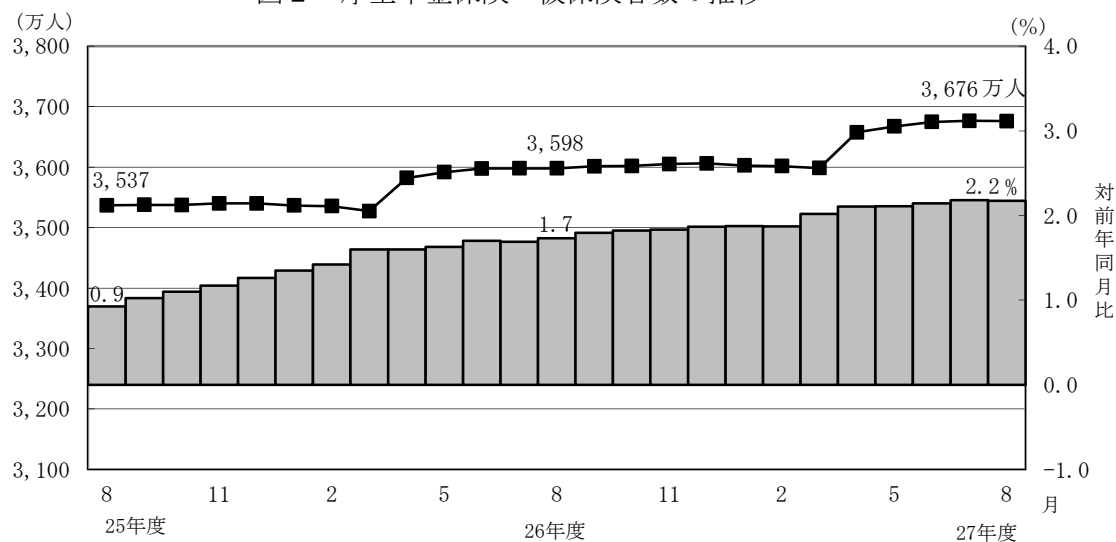
- 平成27年8月末の厚生年金保険の適用事業所数は192万事業所であり、前年同月に比べて8万事業所（4.6%）増加している。

図1 厚生年金保険 適用事業所数の推移



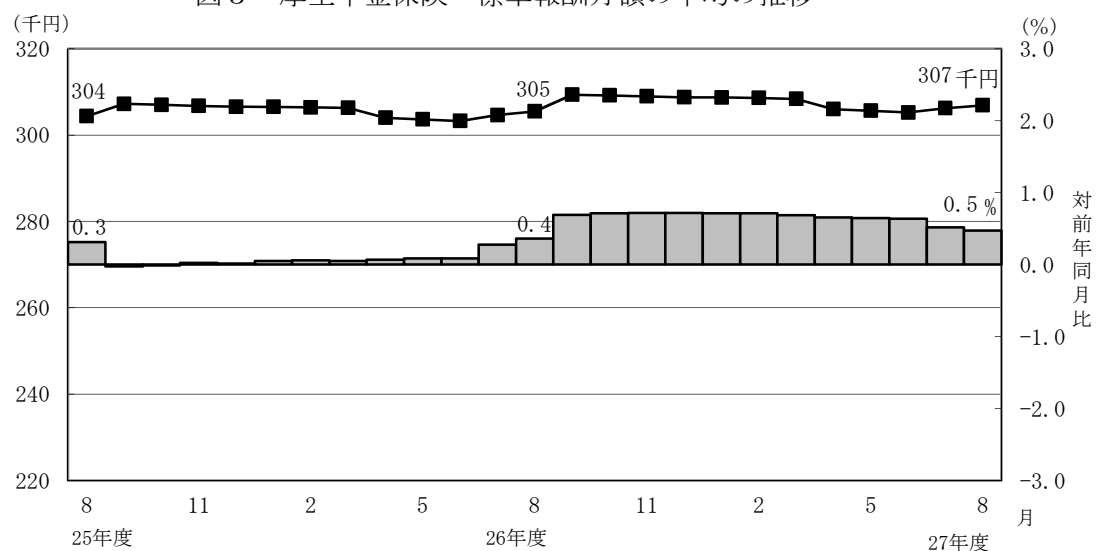
- 厚生年金保険の被保険者数は3,676万人となっており、前年同月に比べて78万人（2.2%）増加している。内訳をみると、一般男子が2,329万人（対前年同月比40万人、1.7%増）、女子が1,342万人（対前年同月比39万人、3.0%増）、坑内員が6百人（対前年同月比23人、3.7%減）、船員が5万人（対前年同月比1百人、0.2%増）である。

図2 厚生年金保険 被保険者数の推移



- 標準報酬月額平均は、30万6,893円となっており、前年同月に比べて0.5%増加している。内訳をみると、一般男子は34万8,025円（対前年同月比0.5%増）、女子は23万5,213円（対前年同月比0.9%増）、坑内員は34万2,503円（対前年同月比1.0%増）、船員が38万4,374円（対前年同月比0.6%増）である。

図3 厚生年金保険 標準報酬月額平均の推移

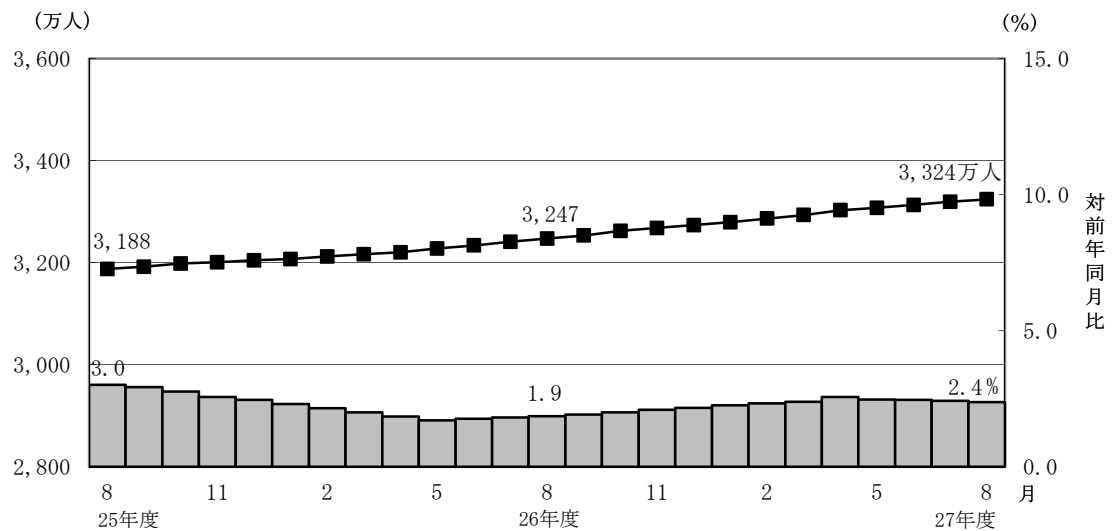


- 賞与支給事業所数は23万事業所、賞与支給被保険者数は308万人、標準賞与額の平均は24万7,228円となっている。

## (2) 給付状況

- 平成27年8月末の厚生年金保険受給者数は3,324万人（旧法厚年分165万人、新法厚年分3,106万人、旧法船保分3万人、旧共済分50万人）で、前年同月に比べて77万人（2.4%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は2,757万人（旧法厚年分117万人、新法厚年分2,599万人、旧法船保分2万人、旧共済分39万人）で、前年同月に比べて67万人（2.5%）増加している。
- 障害給付の受給者数は41万人（旧法厚年分4万人、新法厚年分36万人、旧法船保分1千人、旧共済分4千人）で、前年同月に比べて7千人（1.7%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は527万人（旧法厚年分44万人、新法厚年分471万人、旧法船保分2万人、旧共済分11万人）で、前年同月に比べて9万人（1.8%）増加している。

図4 厚生年金保険受給者数の推移



- 平成27年8月末の老齢年金受給者の平均年金月額は、14万8,614円となっている。  
老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、8万3,383円である。

- 平成27年8月末における失業給付との調整に該当する受給権者数は7万人、高年齢雇用継続給付との併給調整に該当する受給権者数は31万人となっている。

表 4 雇用保険の給付と老齢厚生年金との調整

	失 業 給 付								
	件数（人）			総停止年金額（千円）			平均停止月額（円）		
	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当
平成 27年 3 月	53,088	36,938	16,150	34,261,845	30,782,838	3,479,007	53,782	69,447	17,952
4 月	51,299	35,398	15,901	32,952,824	29,533,619	3,419,204	53,531	69,528	17,919
5 月	61,059	42,513	18,546	39,209,439	35,237,449	3,971,991	53,513	69,072	17,847
6 月	64,649	44,937	19,712	41,367,800	37,194,424	4,173,376	53,324	68,975	17,643
7 月	65,597	45,309	20,288	41,649,551	37,400,505	4,249,046	52,911	68,788	17,453
8 月	65,479	45,366	20,113	41,760,415	37,563,277	4,197,138	53,147	69,000	17,390

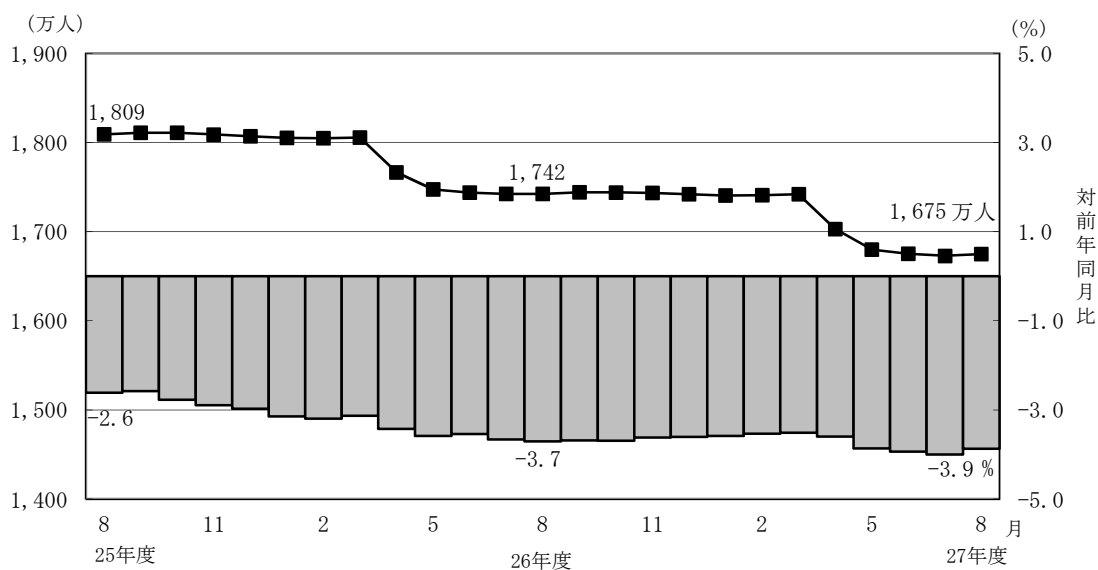
	高 年 齢 雇 用 継 続 給 付								
	件数（人）			高年齢雇用継続給付による停止総額（千円）			平均停止月額（円）		
	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当	計	老齢相当	通老相当
平成 27年 3 月	309,008	299,633	9,375	39,090,903	38,217,147	873,755	10,542	10,629	7,767
4 月	308,484	299,139	9,345	39,061,964	38,188,069	873,896	10,552	10,638	7,793
5 月	300,932	291,651	9,281	38,037,630	37,179,026	858,604	10,533	10,623	7,709
6 月	301,158	291,973	9,185	38,168,100	37,311,612	856,488	10,561	10,649	7,771
7 月	306,729	297,148	9,581	38,867,430	37,966,101	901,329	10,560	10,647	7,840
8 月	309,292	299,316	9,976	39,107,145	38,171,865	935,280	10,537	10,628	7,813

### 3. 国民年金

#### (1) 適用状況

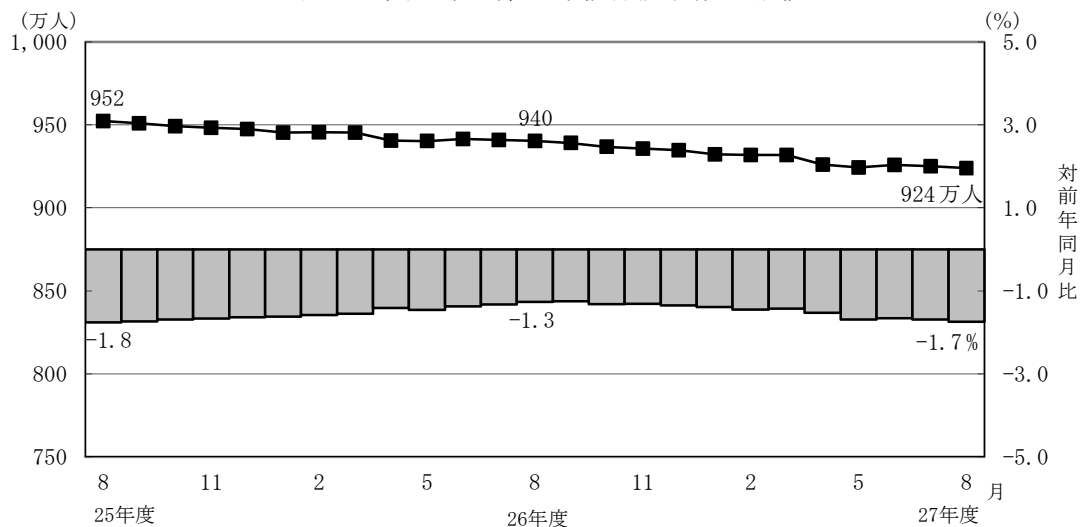
- 平成27年8月末の第1号被保険者数（任意加入被保険者を含む。）は、1,675万人となっており、前年同月に比べて67万人（3.9%）減少している。内訳をみると、男子は861万人（対前年同月比33万人、3.7%減）、女子は814万人（対前年同月比34万人、4.0%減）である。

図5 国民年金第1号被保険者数（任意加入を含む）の推移



- 第3号被保険者数は924万人となっており、前年同月に比べて16万人（1.7%）減少している。内訳をみると、男子は11万人（対前年同月比2千人、1.3%減）、女子は913万人（対前年同月比16万人、1.7%減）となっている。

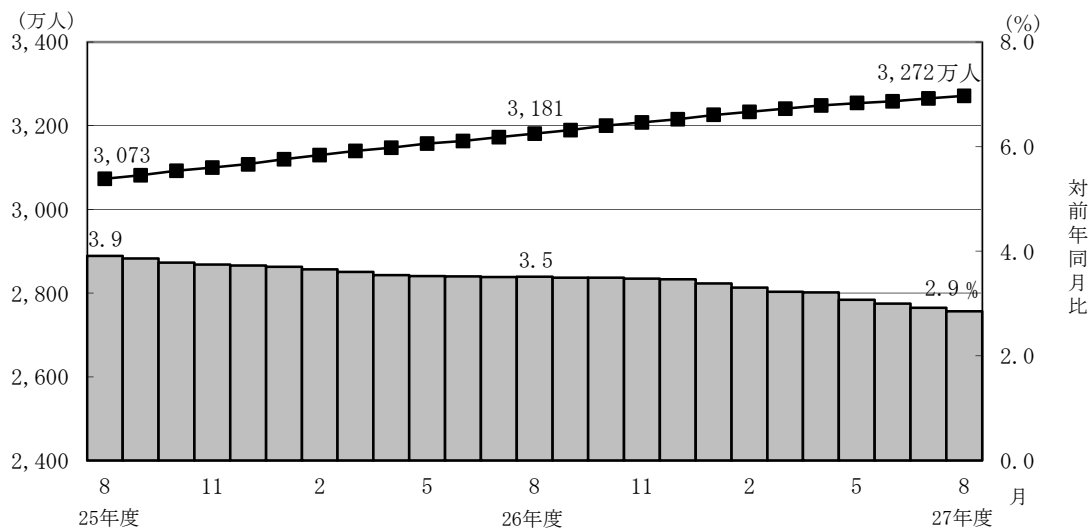
図6 国民年金第3号被保険者数の推移



## (2) 給付状況

- 平成27年8月末の国民年金受給者数は3,272万人（旧法拠出制174万人、基礎年金3,098万人）で、前年同月に比べて91万人（2.9%）増加している。
- 老齢給付の受給者数は3,078万人（旧法拠出制167万人、基礎年金2,911万人）で、前年同月に比べて88万人（2.9%）増加している。
- 障害給付の受給者数は184万人（旧法拠出制6万人、基礎年金178万人）で、前年同月に比べて3万人（1.5%）増加している。
- 遺族給付の受給者数は10万人（旧法拠出制1万人、基礎年金8万人）で、前年同月に比べて2千人（2.4%）減少している。

図7 国民年金受給者数の推移



- 国民年金の老齢年金受給者の平均年金月額は、平成27年8月末で5万5,101円となっている。

老齢年金の新規裁定者（受給者）の平均年金月額は、5万1,631円となっている。

- 旧法老齢年金受給権者及び厚生年金の受給権を有しない老齢基礎年金受給権者について繰上げ受給の状況をみると、8月は新規裁定者1万3千人のうち繰上げ受給権者が1千人となっており、繰上げ受給率は11.1%である。なお、平成26年度新規裁定者の繰上げ受給率は12.4%となっている。